

平成 29 年 1 月期 決算短信 (平成 28 年 1 月 18 日～平成 29 年 1 月 17 日)

平成 29 年 2 月 9 日

ファンド名 国内金先物価格連動型上場投信 上場取引所 東証
 コード番号 1683
 連動対象指標 株式会社東京商品取引所の商品市場における金現物先物取引の期先限月の清算値
 主要投資資産 国債証券および連動対象指標に関連する商品投資等取引に係る権利
 売買単位 10 口
 管理会社 アセットマネジメント One 株式会社 URL <http://www.am-one.co.jp/>
 代表者名 代表取締役社長 西 恵正
 問合せ先責任者 投資信託ディスクロージャー部長 三木谷 正直 TEL (03)6774-5100

有価証券報告書提出予定日 平成 29 年 4 月 17 日

分配金支払開始予定日 -

I ファンドの運用状況

1. 平成 29 年 1 月期の運用状況 (平成 28 年 1 月 18 日～平成 29 年 1 月 17 日)

(1) 資産内訳

(百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計 (純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成 29 年 1 月期	0	(0.0)	58	(100.0)	58	(100.0)
平成 28 年 1 月期	40	(73.3)	14	(26.7)	54	(100.0)

(2) 設定・解約実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
平成 29 年 1 月期	14	0	0	14
平成 28 年 1 月期	14	0	0	14

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1 口当たり基準価額 (③/当計算期間末発行済口数)×1)
	百万円	百万円	百万円	円
平成 29 年 1 月期	58	0	58	4,117
平成 28 年 1 月期	55	0	54	3,826

(4) 分配金

	1 口当たり分配金
	円
平成 29 年 1 月期	0
平成 28 年 1 月期	0

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

II 財務諸表

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第6期計算期間 (平成28年1月17日現在)	第7期計算期間 (平成29年1月17日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	12,007,418	45,692,278
国債証券	40,001,740	-
派生商品評価勘定	-	884,400
未収利息	51	-
前払金	1,993,344	10,904,772
差入委託証拠金	1,286,400	1,366,800
流動資産合計	55,288,953	58,848,250
資産合計	55,288,953	58,848,250
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	584,600	-
未払受託者報酬	15,726	15,641
未払委託者報酬	125,796	125,088
未払利息	-	95
その他未払費用	3,207	2,875
流動負債合計	729,329	143,699
負債合計	729,329	143,699
純資産の部		
元本等		
元本	44,377,120	44,377,120
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	10,182,504	14,327,431
(分配準備積立金)	△6,027,371	△6,341,492
元本等合計	54,559,624	58,704,551
純資産合計	54,559,624	58,704,551
負債純資産合計	55,288,953	58,848,250

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第6期計算期間 (自平成27年1月18日 至平成28年1月17日)	第7期計算期間 (自平成28年1月18日 至平成29年1月17日)
営業収益		
受取利息	72,921	△5,439
有価証券売買等損益	△67,790	△1,780
派生商品取引等損益	△8,355,618	4,460,828
その他収益	-	55
営業収益合計	△8,350,487	4,453,664

営業費用		
支払利息	-	19,801
受託者報酬	32,428	31,345
委託者報酬	259,358	250,644
その他費用	8,023	6,947
営業費用合計	299,809	308,737
営業利益又は営業損失（△）	△8,650,296	4,144,927
経常利益又は経常損失（△）	△8,650,296	4,144,927
当期純利益又は当期純損失（△）	△8,650,296	4,144,927
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	-	-
期首剰余金又は期首欠損金（△）	18,832,800	10,182,504
剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金（△）	10,182,504	14,327,431

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	第7期計算期間 (自平成28年1月18日 至平成29年1月17日)
1 派生商品等の評価基準及び評価方法	先物取引 原則として時価で評価しております。
2 収益・費用の計上基準	有価証券売買等損益及び派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。

(貸借対照表に関する注記)

第6期計算期間 (平成28年1月17日現在)		第7期計算期間 (平成29年1月17日現在)	
1	計算期間末日における受益権の総数 14,260 口	1	計算期間末日における受益権の総数 14,260 口
2	計算期間末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産の額 3,826 円	2	計算期間末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産の額 4,117 円

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第6期計算期間 (自平成27年1月18日 至平成28年1月17日)	第7期計算期間 (自平成28年1月18日 至平成29年1月17日)

1 分配金の計算過程	1 分配金の計算過程
該当事項はありません。	同左

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

項目	第6期計算期間 (自平成27年1月18日 至平成28年1月17日)	第7期計算期間 (自平成28年1月18日 至平成29年1月17日)
1 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める投資を目的とする証券投資信託であり、証券投資信託約款および投資ガイドラインに基づいて運用しております。	同左
2 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 なお、詳細は附属明細表をご参照下さい。 これらは、市場リスク（価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク）、信用リスク、及び流動性リスクを有しております。 また、当ファンドは信託財産に属する資産の効率的な運用に資することを目的として、商品先物取引を行っており、当該デリバティブ取引は対象とする株価指数等に係る価格変動リスクを有しております。	当ファンドが保有する金融商品の種類は、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 なお、詳細は附属明細表をご参照下さい。 また、当ファンドは、期中、有価証券を保有してあります。 これらは、市場リスク（価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク）、信用リスク、及び流動性リスクを有しております。 また、当ファンドは信託財産に属する資産の効率的な運用に資することを目的として、商品先物取引を行っており、当該デリバティブ取引は対象とする株価指数等に係る価格変動リスクを有しております。
3 金融商品に係るリスク管理体制	運用部門がポジション管理を行っておりますが、取引の執行・記録・管理については、トレーディング部門が行っております。また、コンプライアンス・リスク管理部門においてデリバティブに関する法令・約款など運用に関する諸規則の遵守状況のチェックを行うとともにポートフォリオのリスク状況の分析・チェックを行い、上記プロセスを通じ、適正なリスク管理が行われているかをチェックし、必要に応じて関連部署へ報告、注意、勧告を行っております。 なお具体的には以下のリスクの管理を行っております。 ①市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行っております。 ②信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。 ③流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。	運用担当部署から独立したコンプライアンス・リスク管理担当部署が、運用リスクを把握、管理し、その結果に基づき運用担当部署へ対応の指示等を行うことにより、適切な管理を行います。 リスク管理に関する委員会等はこれらの運用リスク管理状況の報告を受け、総合的な見地から運用状況全般の管理を行います。 なお、具体的には以下のリスクの管理を行っております。 ①市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行っております。 ②信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。 ③流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。

4 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には、合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p> <p>また、デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。</p>	同左
---------------------------	--	----

2. 金融商品の時価等に関する事項

項目	第6期計算期間 (平成28年1月17日現在)	第7期計算期間 (平成29年1月17日現在)
1 貸借対照表日における貸借対照表の科目ごとの計上額・時価・時価との差額	貸借対照表に計上している金融商品は、原則として時価評価としているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。	同左
2 貸借対照表の科目ごとの時価の算定方法	<p>(1)有価証券</p> <p>国債証券</p> <p>①わが国の金融商品取引所または海外取引所に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会が発表する売買参考統計値（平均値）（外貨建証券を除く）、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（売気配相場を除く）または価格情報会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>②時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できない場合または入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引</p> <p>先物取引</p> <p>デリバティブ取引等に関する注記に記載しております。</p> <p>(3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務</p> <p>コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>	<p>(1)有価証券</p> <p>(2)デリバティブ取引</p> <p>先物取引</p> <p>同左</p> <p>(3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務</p> <p>同左</p>

(有価証券に関する注記)

① 売買目的有価証券

第6期計算期間(自平成27年1月18日至平成28年1月17日)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額(円)
国債証券	1,740
合計	1,740

第7期計算期間(自平成28年1月18日至平成29年1月17日)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引等に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(商品関連)

第6期計算期間(平成28年1月17日現在)

区分	種類	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
			うち1年超		
市場取引	商品先物取引				
	買建	55,149,400	—	54,564,800	△584,600
合計		55,149,400	—	54,564,800	△584,600

第7期計算期間(平成29年1月17日現在)

区分	種類	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
			うち1年超		
市場取引	商品先物取引				
	買建	58,035,400	—	58,919,800	884,400
合計		58,035,400	—	58,919,800	884,400

(注) 時価の算定方法

商品先物取引の時価の算定方法については、取引所の発表する計算日の帳入値段(清算値)により評価しております。

(関連当事者との取引に関する注記)

第6期計算期間 (自平成27年1月18日 至平成28年1月17日)	第7期計算期間 (自平成28年1月18日 至平成29年1月17日)
市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行われていないため、該当事項はありません。	同左

(その他の注記)

項目	期別 第6期計算期間 (平成28年1月17日現在)	第7期計算期間 (平成29年1月17日現在)
期首元本額	44,377,120円	44,377,120円
期中追加設定元本額	—円	—円
期中一部解約元本額	—円	—円

（4）【附属明細表】

第 1 有価証券明細表

（1）株式

該当事項はありません。

（2）株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第 2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第 3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。